

2024年度 演劇研究集会 タイムテーブル 会場：東京経済大学2号館（1階）

1日目 2024年11月30日（土）			
12:30～	受付 【2号館（1階）エントランスホール】		
13:00～13:20	開会式 【B101教室】		
	開会の辞：日本演劇学会会長 小菅隼人（慶應義塾大学） 趣旨説明：本橋哲也（東京経済大学）		
13:30～15:30	<b>パネルセッション1 【B101教室】</b>	<b>研究発表1 【B102教室】</b>	<b>研究発表2 【B103教室】</b>
13:30 ～14:10	「宝塚歌劇の公共性と課題」 司会：鈴木国男（共立女子大学） 井上理恵（桐朋学園芸術短期大学名誉教授） 川崎賢子（日本大学芸術学部芸術研究所研究員）	司会：藤崎周平（日本大学） ①彭可心（明治学院大学大学院） 「『人形の家』の中国における受容と誤読」	司会：花家彩子（東京学芸大学） ④大岡慎治（広島大学大学院） 「高校生の対話劇創作・上演は学習空間をどのように公共的空間へと変え得るか—福島県立ふたば未来学園高等学校「演劇を通して地域の課題を知る」実践を事例に」
(14:10 ～14:50)		②浜田誠太郎（早稲田大学大学院） 「いかにして「演出」を構成するか—スタニスラフスキーの『かもめ』演出ノート分析」	⑤三津村正和（創価大学） 「小学校高学年における演劇を活用したいじめ予防の取り組み」
(14:50 ～15:30)		③山口遥子（日本学術振興会海外特別研究員 （ドレスデン国立美術館）） 「オブジェクトシアターの変遷と人形劇史的意義」	
15:30～15:45	休憩		
15:45～17:45	<b>パネルセッション2 【B101教室】</b>	<b>パネルセッション3 【B102教室】</b>	<b>研究発表3 【B103教室】</b>
(15:45 ～16:25)	「EPAD映像で緩和する舞台芸術の視聴機会格差」 司会：三好佐智子（一般社団法人EPAD理事） 岡室美奈子（早稲田大学） 横堀応彦（跡見学園女子大学） 石井路子（芸術文化観光専門職大学） 松山立（日本大学） 中島憲（北海道札幌啓成高等学校）	「観光と〈演劇〉の新たな関係性を探る」 司会：片山幹生 （大阪公立大学大学院文学研究科研究員） 李知映（芸術文化観光専門職大学） 葛西周（京都芸術大学） 鈴木理映子（成蹊大学）	司会：松田智穂子（専修大学） ⑥香月恵美子（早稲田大学大学院） 「宝塚歌劇における舞台化粧とジェンダー表象—『風と共に去りぬ』のレット・バトラーの付け髭を中心に」
(16:25 ～17:05)			⑦角田佑一（上智大学） 「宝塚歌劇草創期におけるホセ・リサール劇の研究」
(17:05 ～17:45)			⑧小田中章浩（大阪公立大学） 「岩田豊雄のフランス演劇受容」
18:00～20:00	懇親会（大学生協食堂）		

2日目 2024年12月1日 (日)

10:00~11:30	<b>開催校セッション1 【B101教室】</b>	
	「演劇の公共性と多様性」 司会：本橋哲也（東京経済大学） 瀬戸山美咲（日本劇作家協会会長） シライケイタ（日本演出者協会理事/日韓演劇交流センター会長/座・高円寺芸術監督）	
11:30~13:00	昼休み（※理事会：2階 B205教室）	
13:00~15:00	<b>パネルセッション4 【B102教室】</b>	<b>パネルセッション5 【B103教室】</b>
	「GHQ占領期における地域演劇の実証的研究 —九州地区を中心に」 司会：小川史（横浜創英大学） 須川渡（福岡女学院大学） 畑中小百合（大阪大学）	「演劇とエコロジー—歴史的視座から」 司会：柴田隆子（専修大学） 三井武人（近畿大学） 小田幸子（能・狂言研究家）
15:00~15:15	休憩	
15:15~16:45	<b>開催校セッション2 【B101教室】</b>	
	「鈴木忠志演劇の公共性と多様性を今あらためて検証する」 司会：成田龍一（日本女子大学名誉教授） 渡辺保（演劇評論家） 菅孝行（演劇評論家）	
16:45~17:00	<b>閉会式 【B101教室】</b>	
	開催校挨拶：東京経済大学学長 岡本英男 閉会の辞：日本演劇学会副会長 林公子（近畿大学）	